

LULUの勝手に
ドラマ談義4
～2015・夏～

LULU



この夏イチオシだった「リスクの神様」なんだけど

この夏一番面白かったドラマを上げろと言われてたら、真っ先にこれだと思う・・・堤真一、戸田恵梨香共演の「リスクの神様」。

作り方もどこか海外ドラマっぽくて、題材もややグローバルになっておりましたので、こりゃ続編も期待できるぐらいに骨太ドラマに仕上がったのか・・・と思いきや、後半やや失速気味だったのが気に掛かりました。

何と言いますか・・・堤真一が抱えている実父との確執、そしてその実父を失脚させた企業へのただならぬ想い、そういったものが初回から描かれていましたので、クライマックスには何らかの解決が待っているとは思っていたのですが、戸田恵梨香の動きがそこに向かって走りすぎな感もあり、あのヒロインでしたらもう少し「頑張って!」と応援したくなるキャラ感満載だったのに、途中から「なんかウゼーな、あの女。人のプライベートまで調べるって何様?!」的な気分になってしまったのはわたしだけでしょうか。

まあ確かに危機対策の一環と言えはそうなのでしょうが、それにしてもでしゃばり感が気になり過ぎて物語に集中できませんでした・・・

古田新太が出てるような出てないような露出だったのは、敢えてだったのか、それともスケジュールの都合なのか、なんてどうでもいいことまで気になってくる始末。

ちょっと後半に集中させてもらえなかったのは残念。

しかも幕切れが何ともあっけなくて、斬新と言えはそうなのでしょうが、何だか肩透かし。森田剛くんはクールで、ちょっとひねくれた青年がよく合っていました。ドラマ露出増えることを期待!

最初はすごくワクワクしていたのにな・・・これがワンクールの限界なのか。

驚きの全12回。安心して観れた「婚活刑事」

スタート日時も早く、全12回というきっちりワンクール勤め上げたのは、ちょい深夜枠の「婚活刑事」。

伊藤歩主演で、なぜか好きになる人が全員犯罪者というおかしな能力を持つ刑事が、婚活にいそしむ姿を描く・・・とまあコメディです。まるきり。

ただ、小池徹平演じるクールなエリート刑事は、元婚約者の事故死について不審を抱いている影のある役で、伊藤歩とは何かにつけて衝突する、という一人トーンが低い役どころ。

まあね、最初からわかっておりました。最終的にはこの正反対で相性最悪な二人がくっつくんだよね?的な少女漫画のノリは!でもそういうのもなかなか貴重。とにかく伊藤歩がキャピる姿や、「もう」なんて腕をバタバタさせるなんていう、ファン悶絶のぶりっ子キャラを演じきってくれたのには脱帽、それに対して小池徹平が必要以上の低音ボイスにチャレンジしていたのも、途中からは辛かったけどまあ良しとしましょう。

実際あんな刑事たちがコントみたいに捜査していたら、治安にただならぬ不安が立ち込めるところではありますが、まあそこはね、コメディですから!!

とにかく、最初から最後まできっちり観させていただきました。

途中から「あの人が黒幕なのね」とわかっちゃいましたが、急に課長の娘の重病エピソードがブツ込まれてきたときには心底びっくりしました。でもって、大杉漣演じる黒幕は、結局はいい人ってことでいいのかしら?

バタバタコメディにふさわしく、バタバタとエピソードを織り込んで、片付けて終わっていったのですが、小池徹平くん、次は好青年役で登場してほしい・・・キスシーンが想像以上に綺麗だったもので(照)。

案外観てしまった「探偵の探偵」とにかく麦ちゃんすごかった

わたしは正直途中からダレてきちゃったのですが、家人が観ていたので結局つられて観てしまった「探偵の探偵」。

北川景子のアクション、結構見ごたえありましたが、何せ「なぜそんなところに行くの?」「日本でそれは・・・」というぶっ飛びデンジャラスシーン満載で、ある意味楽しみました。

そして北川景子が強いんだか弱いんだか全然わからず、すぐに捕らえられてビシバシやられまくるという、何だか観ているほうが疲れる展開が多々。

小説が原作ということですが、どの程度内容に沿って描かれていたのだろうか。

そしてチラチラ画面に映りはじめた頃から怪しさ半端なかった門脇麦ちゃん。やっぱりそうになりましたか!!

でもなんだかちょい無理があると思えたのはわたしだけでしょうか。最大の敵として、ユースケだの何だの出しといて、最後はそれなのか・・・でもきっとこれは原作にあるのだろうなあ。

ただ、門脇麦ちゃんの演技力は相当光っておりました。弱々しい反面、スイッチが入ったときのクレージーさはすさまじい破壊力。これだけでも見る価値あり。

川口春奈はビューティホーの一言。それにしてもお姉さんがあんなにも狂気化しちゃったのは何で?

気づいたら完全にストーカー状態で一人でホラー部門背負っておりました。その役の中村ゆりさんが似合うこと似合うこと。

たぶんたくさんの題材を駆け足で表現する弊害が所々に出ていただろうなあ・・・お疲れ様と言いたいドラマ。

唐沢寿明の王道演技が光る「ナポレオンの村」

唐沢寿明が、廃村寸前の村を立て直す伝説の職員を演じた「ナポレオンの村」。

毎回、唐沢寿明が奇想天外なアイデアで村人を動かし、神楽村を盛り上げようと計画するのですが、都度邪魔が入って危機に・・・それを乗り越えるたびに、村人の結束が固まっていき、最初は全然賛成していなかった麻生久美子始め、職員の心までも動かしていく・・・という健全なお話でした。こういうのは、唐沢寿明ぴったりだな～とつくづく感じて観ちゃいました。

廃村寸前の、活気のなくなった村を住んで触れ合って魅力を開拓していく様は、地方活性という観点からしたら、興味深いエピソードが満載だったかも。

途中、山本耕史が怪しすぎてとんでもないことが起きるのかとひやひやしていましたが、まあさほど大きな裏切りでもなく、周囲の人間も影響を受けてどんどん変わっていく様はみごたえ充分でした。

裏では愚痴ばかりで、髪をひつつめてすっぴんでゲームに興じる麻生久美子も面白かった。

そしてびっくりしたのが、二回目のゲストに菅野美穂が出てきたこと!!

毎回のゲストも豪華で楽しめました。

めちゃくちゃ面白いとかハラハラする展開!というわけではないけれど、地味にいいドラマだったと思います。結構貴重なんですよ～、誰と見てもいつ見ても支障のない内容って。

スペシャルが光っていた夏。

今回は観ているようで、あんまり充実していませんでした、ドラマライフ。

いっぽうで海外ドラマを観ていたり、昼間にやっている再放送をチェックしていたり、それで満足しちゃってる感ありで、これはもう秋に期待するしかないという事態。

その中で、スペシャルドラマに見ごたえのあるものが揃いました。

まずは「緊急取調室～女ともだち～」。

これってなぜこのタイミングだったんでしょうか。それなりにスペシャルを放映するときには本編再放送などの序章があったり、パート2が始まる、映画化などの事情が垣間見えるものですが、これに関しては予告編を見たときに「は?これってもしやあのキントリ?」とテレビの前で叫んでしまったほど。

いまだその謎はわたしには解明できておりませんが、とにかく緊張感みなぎる女の戦いが見事でした。

今回は刑期を模範囚でつとめあげ、出所した松下由樹が3時間半後に「人を殺しました」と出頭してくるところから物語がスタート。そこに絡む、高校時代の親友で人気のニュースキャスターである斉藤由貴。

女ともだちの過去が明らかになるとき、松下由樹の本当の姿は丸裸になるのか。

相変わらずテンポよく展開していき、天海祐希のきりっとした姿もお茶目な仕草も健在。緩急メリハリのある独特の展開で飽きさせませんでした。

考えてみたら、小日向文世、でんでん、田中哲司、大杉漣などそうそうたるメンバーなんですよね～。もこみちも端っこに。

女のエゴと、見栄と、ともだちという複雑な関係に引き込まれました。面白かった!!

そしてこちらは再放送を流すなど、宣伝半端なかった「デート～恋とはどんなものかしら～2015 夏秘湯～」。

本編については、数回見逃していたので再放送、ありがたかった!毎回、笑いどころのあるコメディ恋愛ものですが、今回は結婚に向けて順調に進んでいたと思われた、杏と長谷川博己に何と浮気疑惑が持ち上がる。

貧血美女にふらついた高等遊民は果たして一線を越えてしまうのか・・・

この事件を乗り越えたのちに、2人に起こる変化については微笑ましくほっこりと。

それにしても、国仲涼子さんは確かに今出演どころではないと思うのですが、うまーく声だけ出演で乗り切ったと思いきや、最後には「美容にお金をかけすぎて誰かわからなくなってしまった女」ということで本当に別人起用!!ずっこけそうでしたが、これはこれでアリと思っちゃうところがこのドラマすごいところ。

いや～またやってほしいな～。相変わらず中島裕翔くんは好青年にぴったり!

夏のドラマということには

今回はあまり熱中できるものがなかったのが残念だった夏ドラマ。

夏と言えば、定番で夏・恋愛!!っていう展開があったと思うのですが、今は王道恋愛ドラマがウケないらしいです。どうやら。

というわけで、「恋仲」ぐらいだったでしょうか。好きという気持ちがこじれにこじれて、焦れたいみたいな展開は。

それも、SNSを駆使した出演者による実況中継が別の意味でウケて、ライブ感醸し出して成功したようです。視聴率に影響するのは、オンタイムの視聴者。

ということで、わたしのように100%録画派は視聴率って実は関係ない世界なのかなと思ったり。

世代的にも「昼顔」みたいな背徳感たっぷりの大人恋愛のほうが断然ウケがいいのかもしれない昨今。

確かに高校生が好きだ、嫌いよ、俺のこと好きになれよ、壁ドン顎くいなんて展開してくれても、とても見ていられないかもしれない・・・悲しいかな。

でも大人純愛みたいなのもあってもいいと思うんだけどな～、それは不倫ということじゃなくて。

綺麗な男子に美しい女子、生々しいんじゃなくてあくまでも空々しい恋愛もの。リアリティとか完全無視して、独自のお花畑感出しちゃったり。

もう背中かゆいんだけど、どうしても毎週観てしまう、ああ木曜の夜が切ないわ、的なの。下品になりすぎず、美しく作れると思うのだけどな～日本。

というわけで、「恋仲」「デスノート」は一話で挫折・・・、他のドラマは録画したもののどうも観る気持ちに盛り上がり不足、挫折しちゃいました・・・。

ということで、秋はどんなドラマが待っているのか、今から楽しみ・・・

LULUの勝手にドラマ談義4～2015・夏～

<http://p.booklog.jp/book/101553>

著者：LULU

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/luludairy/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/101553>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/101553>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパー（<http://p.booklog.jp/>）

運営会社：株式会社ブックログ